

16:1 次のような【主】のことばが私にあった。

16:2 「人の子よ。エルサレムにその忌み嫌うべきわざを告げ知らせよ。

16:3 『【神】である主はエルサレムについてこう言われる。あなたの出身、あなたの生まれはカナン人の地、あなたの父はアモリ人、あなたの母はヒッタイト人であった。

16:4 あなたの生まれについて言えば、あなたが生まれた日に、あなたは、へその緒を切られず、水で洗いきよめられず、塩でこすられず、布で包まれることもなかった。

16:5 だれもあなたにあわれみをかけず、これらのことの一つでもあなたにしてやって、あなたに同情しようとはしなかった。あなたの生まれた日に、あなたは嫌われ、野に捨てられた。

16:6 わたしがあなたのそばを通りかかったとき、あなたが自分の血の中でもがいているのを見て、わたしは血に染まったあなたに「生きよ」と言い、血に染まったあなたに、繰り返して「生きよ」と言った。

16:7 わたしはあなたを野原の新芽のように育て上げた。あなたは成長して大きくなり、十分に成熟して、乳房はふくらみ、髪も伸びた。しかし、あなたは丸裸であった。

16:8 わたしがそばを通りかかってあなたを見ると、ちょうど、あなたは恋をする年ごろになっていた。わたしは衣の裾をあなたの上に広げ、あなたの裸をおおった。わたしはあなたに誓って、あなたと契りを結んだ——

【神】である主のことば——。そして、あなたはわたしのものとなった。

16:9 わたしはあなたを水で洗い、あなたの血を洗い落とし、あなたに油を塗った。

16:10 わたしはまた、あや織りの衣服をあなたに着せ、じゅごんの皮の履き物をはかせ、亜麻布をかぶらせ、絹物でおおった。

16:11 それから、わたしは飾り物であなたを飾り、腕には腕輪をはめ、首には首飾りをかけ、

16:12 鼻には鼻輪、両耳には耳輪を着け、頭には輝かしい冠をかぶらせた。

16:13 あなたは金や銀で飾られ、亜麻布や絹やあや織物を着て、上等の小麦粉や蜜や油を食べた。こうして、あなたは非常に美しくなり、女王の位に進んだ。

16:14 あなたの美しさのゆえに、あなたの名は国々の間に広まった。それは、わたしがあなたにまとわせた、わたしの飾り物が完全であったからだ——【神】である主のことば。

みじめで恥辱に満ちた女性にイスラエルを例えています。実際イスラエルはエジプトでは奴隷であり、カナンに移住してからも強国に悩まされる、弱い存在でした。それを神様が救い、満ちし、高貴なものへとまでしてくださったのです。

同じように私たちも、罪を死の中にあって、みじめな存在でしたが、神様の救いにあずかって、今や神の子とまでさせていただきました。

イスラエルは神の恩を忘れて不信仰、不従順に陥ってしまいましたが、私たちはこれからも主に感謝しつつ、主の喜ばれる生き方をしていきたいと思います。自分が救われていなかったら、どれほどの恐怖と虚無の中にいたものであるか…それを忘れずに主に感謝を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

